

令和元年度  
広野町中学生海外教育交流派遣事業報告書

カナダ ブリティッシュコロンビア州  
(ビクトリア・バンクーバー)

2019年8月16日～8月23日



広野町教育委員会



# 目 次

◆ はじめに	1
◆ 派遣団員名簿	2
◆ 派遣事業経過	3
◆ 派遣事業行程表	4
◆ 事前研修会	6
◆ 結団式	7
◆ カナダ現地研修の概要	8
◆ 事後研修会	16
◆ 活動報告会	17
◆ 参加団員の感想	19
◆ 今後の海外交流派遣に向けて	22

## はじめに

広野町の中学生海外教育交流派遣事業は、平成9年から平成13年に実施され、その後国際情勢等による中断を経て、平成26年に再開してから6回目となりました。外国の文化、歴史、生活、風土等に接することで、外国の人々との相互理解と国際協調の精神を養い、国際的感覚豊かな人材の育成を目的に実施されており、このような教育事業を継続している市町村は他に例を見ません。毎年の積み重ねにより、豊かな経験を持つ人材が増え、将来の町づくりに多大な貢献をしてくれることが期待されます。

本年度は中学2年生と引率者併せて15名を、8月16日から8月23日までの6泊8日間、カナダに派遣していただきました。滞在したビクトリア市はブリティッシュコロンビア州の州都であり、同州南部に大陸側とはジョージア海峡などをはさんで横たわるバンクーバー島の南西部に位置しています。カナダ国内の都市の中で一番南に位置していることから、気候は温暖で春から夏にかけて色鮮やかな花々に囲まれた英国風の街並みが広がっています。

ホームステイでのホストファミリーとの生活や、異文化コミュニケーション活動で共に過ごした同世代のカナディアンバディとの交流では、英語が通じた喜びだけでなく、うまく伝わらないもどかしさもありました。それらは現地でしか味わうことができない実体験であり、子どもたちのその後の学習意欲を高めることにつながります。また、ビクトリア大学陸上競技部の日本人コーチやJTBバンクーバー支店で働く若い日本人社員との懇談を通して、グローバルな視点で人生や職業について深く考える機会にもなりました。様々な人々との出会いにより、友情や家族の温かさなど、国や人種を超えて、普遍的な人と人とのつながりを感じることもできたと思います。

帰国後は、事後研修で学んだことや感じ取ったことを振り返ってまとめ、活動報告会で発表することができました。子どもたちの変容から、今回の研修でたくさんのことを学び、成長した姿を多くの方々から認めていただきました。

このような貴重な学びの場を与えていただいたことに、広野町を始め、ご協力いただいた関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。広野町の子どもたちがこれからのグローバル社会を生き抜き、豊かな人生を送るためにも、この事業が今後も長く継続することを願っています。

広野町中学生海外教育交流派遣事業  
団 長 安 良 公 広

## 派遣団員名簿

男子6名・女子5名：合計11名

No.	所属	生徒氏名	ふりがな	性別	備考
1	広野中2年	赤井 晴香	あかい はるか	女	
2	広野中2年	木幡 温人	こはた はると	男	
3	広野中2年	小林 大希	こばやし だいき	男	
4	広野中2年	坂本 大星	さかもと たいせい	男	
5	広野中2年	坂本 遥斗	さかもと はると	男	
6	広野中2年	鈴木 姫奈	すずき ひな	女	
7	広野中2年	土屋 樹	つちや たつき	男	
8	広野中2年	抜水 聖哉	ぬきみず せいや	男	
9	広野中2年	牧ノ原 梨織	まきのほら りお	女	
10	広野中2年	横田 歌恋	よこた かれん	女	
11	広野中2年	吉田 ゆきな	よしだ ゆきな	女	

## 役員名簿

広野中学校職員2名・教育委員会事務局2名：合計4名

No.	所属	生徒氏名	ふりがな	性別	備考
1	広野中教頭	安良 公広	あら きみひろ	男	団 長
2	広野中教諭	佐藤 悦夫	さとう えつお	男	
3	学校教育課 指導主事	渡邊 智幸	わたなべ ともゆき	男	
4	生涯学習課 主査	遠藤 結花	えんどう ゆか	女	

## 派遣事業経過

月 日	曜日	内 容	参 加 者
8月2日	金	<b>【事前研修会】</b> 広野町公民館2階大会議室 <input type="checkbox"/> 異文化理解ワークショップ 海外での研修を充実したものにするため、自分自身を相手に伝えるコミュニケーションの取り方について学び、考え、ワークショップを通じて実際に表現する力を身に付ける <input type="checkbox"/> 訪問先について学ぶ カナダと日本の文化・生活習慣の違いについて学習し、現地での生活への理解を持つ <input type="checkbox"/> 留学生との異文化交流 外国人留学生との交流を通じ、異国の地で学ぶ意味を考える	派遣中学生 派遣同行職員
8月9日	金	<b>【結団式】</b> 広野町公民館2階大会議室 <input type="checkbox"/> 任命書交付 <input type="checkbox"/> 激励の言葉 <input type="checkbox"/> 派遣者代表あいさつ ・引率者代表 団長 安良 公広 ・生徒代表 団員 赤井 晴香	派遣中学生 派遣同行職員 保護者
8月16日   8月23日	金   金	<b>【海外派遣】</b> カナダ：ブリティッシュコロンビア州 ビクトリア・バンクーバー（6泊8日） <input type="checkbox"/> 出国 <input type="checkbox"/> 帰国	派遣中学生 派遣同行職員
10月19日	土	<b>【事後研修会】</b> 広野町公民館2階大会議室 <input type="checkbox"/> カナダ研修の振り返り（グループワーク） <input type="checkbox"/> 報告会に向けた資料の作成 <input type="checkbox"/> 報告会に向けた発表の練習	派遣中学生
11月2日	土	<b>【広野町中学生海外研修報告会】</b> （「ひろの秋まつり」において同時開催） <input type="checkbox"/> プログラム説明 <input type="checkbox"/> グループ発表（3グループ） <input type="checkbox"/> 講評	派遣中学生 参加希望者

# 行程表

派遣先：カナダ ブリティッシュコロンビア州 ビクトリア・バンクーバー

派遣期間：令和元年8月16日（金）～8月23日（金） 8日間

日	月日 (曜)	地名	現地時間	交通機関	行程	食事
1	8/16 (金)	広野町公民館発	10:30	貸切バス	貸切バスで成田空港へ 途中 SA を経由し, 空港へ 成田空港到着後国手続き 空路, バンクーバーへ	夕:○機内
		成田空港着	14:30			
		成田空港発	16:50	AC004		
.....国際日付変更線通過.....						
		バンクーバー空港着	09:25		バンクーバー空港到着, 入国手続き 空路, ビクトリアへ ビクトリア空港に到着 オリエンテーション会場へ 着後, オリエンテーションを行います 終了後, ホストファミリーと対面 ホームステイ先へ 〈ホームステイ泊〉	朝:○機内 昼:各自  夕:○ ホストファミリー
		バンクーバー空港発	12:55	AC8085		
		ビクトリア空港着	13:25			
		ビクトリア空港発 ビクトリア	14:30	専用車		
2	8/17 (土)	ビクトリア	午前	ホストファミリー 送迎	ホストファミリーの送迎で集合 バディと一緒にダウンタウン散策 ランチ:カナディアンバディと一緒に 自由昼食	朝:○  昼:各自  夕:○ ホストファミリー
			午後		ESLレッスンの座学 カナダ・ビクトリアの歴史・文化 英語のワンポイントレッスン 終了後, グループワーク(振り返り学習)  〈ホームステイ泊〉	
3	8/18 (日)	ビクトリア	終日		ホストファミリーと終日一緒に過ごす	朝:○ 昼:○ 夕:○ ホストファミリー
4	8/19 (月)	ビクトリア	午前	ホストファミリー 送迎	ホストファミリーの送迎で集合  ビクトリアで活躍している日本人スポーツ インストラクター講話 バディとのチームビルディング ランチ:ホストファミリーのランチBOX オルカウォッチング	朝:○  昼:○  夕:○ ホストファミリー
			午後	公共交通機関	終了後, グループワーク(振り返り学習) 〈ホームステイ泊〉	

5	8/20 (火)	ビクトリア	午前	ホストファミリー 送迎	ホストファミリーの送迎で集合 バディと一緒にスカベンジャーハント ランチ:ホストファミリーのランチBOX	朝○  昼○
			午後 夕刻		グループワーク(フェアウェル準備)  ホストファミリーとバディを招待して フェアウェルパーティ〈ホームステイ泊〉	夕:○ ホストファミリー
6	8/21 (水)	ビクトリア		ホストファミリー 送迎	ダウントウンに集合 ホストファミリーとお別れをし, フェリー乗り場へ	朝:○ ホストファミリー
		ビクトリア港発	11:00	フェリー	バンクーバーへ	
		バンクーバー港着	12:35		バンクーバー到着後, 市内ショッピングモールにて自由昼食 バンクーバー市内へ	昼:×各自
		バンクーバー	13:50	専用車	日本企業を訪問 研修後のプレゼンテーションを実施 訪問後,バンクーバー市内観光 ギャズタウン散策 中華レストランにて夕食  ホテル到着  〈バンクーバー泊〉	夕:○ レストラン
			19:30			
7	8/22 (木)	バンクーバー	8:30	専用車	朝食&荷物整理後,チェックアウト バンクーバー市内観光 聖火台・ハーバーセンター見学 スタンレーパーク見学・自由散策 (トーマムポール) 終了後,バンクーバー空港へ移動 空港到着後,出国手続き 終了後,各自昼食 空路,帰国の途へ	朝:○ ホテル
		バンクーバー空港着	11:20			昼:×各自
		バンクーバー空港発	13:50	AC3		夕:○機内
					.....国際日付変更線通過..... 〈機内泊〉	
8	8/23 (金)	羽田空港着	15:50	貸切バス	成田空港到着後,入国手続き 途中 SA を経由し広野町へ 到着後,到着式 解散	朝:○機内 昼:○機内 夕:お弁当
		羽田空港発 広野町公民館着	17:00 20:30			

海外研修を実施するにあたり、現地カナダでの活動をより充実したものするため本事業に参加する広野中学校第2学年11名を対象に事前研修会を開催しました。

## 【研修概要】

- 10:00 ホームステイワークショップ
- 12:00 昼 食
- 13:00 留学生のことを知ろう（自己紹介）
- 13:40 カナダについて知ろう
- 14:00 ウォーミングアップ
- 14:30 留学生との街歩き体験（留学生に広野町を紹介してみよう）
- 16:30 留学生との交流の感想

### ホームステイワークショップ

生徒たちは「カナダに行ったら何をしたいか」について意見を出し合い、それを実現するためには「現地でどんなことに取り組みばよいか」考えました。

また講師より、日本と海外の文化・風土・言葉の捉え方の違いやホームステイをする上で注意しなければならないことについて講義を受けました。海外での生活についての不安を解消し、海外派遣研修を行う上での心構えを確認する姿が見られました。



### カナダについて知ろう

カナダ出身の留学生から、カナダの気候や人気のあるスポーツ、食事等、具体的な写真資料を用いた説明がありました。日本で目にする物の中にも、カナダに馴染みのある物が存在することに気付いたり、興味をもったことを再度留学生に尋ねたりする姿が見られました。



実際の資料の一部より

### 留学生との交流・街歩き体験

都内の大学に在籍する留学生（モンゴル・カナダ・台湾・中国）4名を招き、各出身国の紹介や日本との違い、なぜ日本に留学生として来たのか、様々な観点からお話いただきました。その後、4つのグループに分かれ自己紹介や簡単なゲームを通じて留学生との交流を図りました。生徒達は、知っている単語やジェスチャー、絵などを使って積極的に交流を図っていました。





# 結団式

2019/08/09 広野町公民館 2階大会議室

結団式は、来賓の皆様をはじめ、引率者と団員、保護者等多くの方々が参加し執り行われました。式では派遣団員 11 名と役員 4 名の任命書交付後、広野町長、広野町議会副議長より激励の言葉をいただきました。派遣団を代表し団長の安良公広野中学校教頭、団員の赤井晴香さんが研修に向けて抱負を述べました。

## 【式次第】

- (1) 任命書交付
- (2) 引率者紹介
- (3) 激励の言葉  
広野町長  
広野町議会副議長
- (4) 派遣者代表あいさつ  
団長 安良 公広  
団員 赤井 晴香



任命書交付の際に呼名される中学生



研修に向けた抱負を述べる赤井さん



式終了後に記念写真におさまる参加者の皆さん

# カナダ現地研修の概要

## 【事業の目的】

次代を担う中学生を海外に派遣し、訪問国の文化、歴史、生活、教育、風土等に接することにより、諸外国に対する理解と国際協調の精神を養成し、広い視野を持つ青少年の育成を図ります。

【訪問先】カナダ ブリティッシュコロンビア州 ビクトリア及びバンクーバー

【派遣期間】令和元年8月16日（木）～8月23日（木） 6泊8日間

【派遣団】広野中学校2年生：11名（男子6名，5名）  
引率者：4名（中学校職員2名・学校教育課職員2名）

## 【研修の内容】異文化コミュニケーション（STEP①～④）

- ① カナダで活躍する日本人から学ぶ
  - ② カナディアンボディとの交流から学ぶ  
(スカベンジャーハント，チームビルディング)
  - ③ ホストファミリーとの交流から学ぶ
  - ④ 現地日系企業で働く日本人から学ぶ
- フェアウェルパーティー





## 【研修の日程】

- 10:30 広野町公民館よりバスで出発  
(途中のサービスエリアで各自昼食を取る)
- 14:30 成田空港着
- 16:50 成田空港発
- ..... **国際日付変更線過** .....
- 09:25 バンクーバー空港着
- 12:55 バンクーバー空港発
- 13:25 ビクトリア空港着
- 14:30 ビクトリア空港発



ホストファミリーと緊張のご対面

空港到着後、バスで市街地へ移動し、現地スタッフやホストファミリーと出会い、それぞれのホームステイ先へ移動した。

## 【研修の実際】

団員一行は広野公民館にて出発式を終えバスで成田空港へ向かいました。日本からカナダ（バンクーバー）は約9時間の長旅になります。

日付変更線を通過し、現地時間8月16日（木）午前9時過ぎにバンクーバー国際空港に到着しました。団員たちは、次のフライトまでの時間を利用して、空港内のお店で各自軽食や買い物を済ませました。メニュー表を指さしたり、知っている英単語を使ったりしながら、カナダでの買い物に挑戦していました。

ビクトリア到着後は、現地のスタッフから、ホームステイ先での注意事項として「意思表示をしっかりと行う必要性」についてお話がありました。日本人は曖昧な返答を行いがちであり、真の国際人になるためには、誰に対しても自分の考えをしっかりと伝えることも必要だとのこと。また、カナダでは挨拶を大切にする習慣があり、ちょっとした会話でも「Thank you」と感謝の気持ちを伝える文化があるというお話も聞きました。初めての経験に緊張しながらも、ホストファミリーと出会い、それぞれの家庭で夜を過ごしました。



バンクーバー空港内で談笑する中学生



ビクトリア空港内の公園にて

## 【研修の日程】

- 8:45     ホストファミリーの送迎で集合  
          バディと対面  
          バディとビクトリア市街の散策  
          ストリートマーケットの見学  
          ランチ：カナディアンバディと自由昼食
- 13:00     ESL レッソンの座学  
          カナダ・ビクトリアの歴史・文化  
          ドリームキャッチャー作り  
          英語のワンポイントレッスン
- 16:30     グループワーク（振り返り）を行いそれぞれのホームステイ先へ移動した。



バディとの対話を楽しむ中学生

## 【研修の実際】

現地では3グループで活動し、各グループに1、2名のバディ（現地活動をお手伝いしてくれる同世代スタッフ）が同行します。2日目はまず始めに、バディと初対面を果たしました。

その後、ビクトリア市街地（ダウンタウン）に移動し、バスに乗って地元で開催されているストリートマーケットへ。地元で採れた野菜や果物、果物ジュース、お土産品等、朝市にしか並ばないような品物を目にする事ができました。お店の人と会話をしたり、活気ある朝市の雰囲気やバディと一緒に感じたりする姿が見られました。中には、さっそく地元グルメを堪能し、引率した先生に勧める団員もいました。

午後は、カナダやビクトリアの歴史や文化についての講義を受け、アメリカやカナダに昔から伝わる悪夢除けのお守り「ドリームキャッチャー」作りを行いました。英語による講師とコミュニケーションを図りながら、すてきなお守りを作ることができました。最初はバディと何を話していいかが分からず、交流できなかった団員たちですが、1日の活動の振り返りでは、積極的に英語を活用しながら、バディと話し合う姿も見られました



バディと出会うが、まだまだ緊張気味...



ドリームキャッチャー作りを行う団員たち



## 【研修の日程】

本日は日曜日。ホストファミリーの計画により、休日を過ごす。(買い物や観光等)

## 【団員たちが目にした現地の様子】



ビクトリア市街地のインナー・ハーバーの朝の様子です。日本に比べ日照時間が長く、日の出からゆっくりと街が明るくなってきます。海岸沿いに大きな建物もないので、遠くまで美しい景色を眺めることができます。



州議事堂の前にあるビクトリア女王の像



街中で一際目立つフェアモント・エンプレス



家庭によっても多少の違いはありますが、カナダで提供される代表的な食事



## 【研修の日程】

8:45     ホストファミリーの送迎で集合  
          ビクトリアで活躍している日本人  
          スポーツインストラクター講話  
          バディとのチームビルディング

ランチ：ホストファミリーが持たせてくれた  
          ランチBOXを自由昼食

13:00    オルカウォッチング

16:30    グループワーク（振り返り）を行いそれぞれのホームステイ先へ移動した。



カナダの自然を感じて・・・ 14歳夏

## 【研修の実際】

午前にはビクトリア大学陸上競技部アシスタントコーチの高橋優一氏による講話，カナディアンバディとのチームビルディングを行いました。講話では，コーチになるまでの経緯や日本とカナダのスポーツに対する考え方の違い等をお話いただきました。東京2020オリンピック・パラリンピック大会では「カナダ代表のコーチとして参加できるように自分を磨きたい」と自身の抱負を語る姿に団員たちも大きな刺激を受けていました。チームビルディングでは，バディと協力し英語やジェスチャーを活用したゲームを行いました。バディと過ごすのも2日目となり，たいぶ表情豊かに関わることができました。

午後には，ホエールウォッチングに出かけ，自然の鯨やオルカ，アザランを見ました。英語のアナウンスに耳を傾けながら，カナダならではの自然を感じる姿が見られました。

刺激の多い日々の連続にやや疲れ気味の子どもたちでしたが，自分の気持ちを伝えるための英語表現をスタッフに確認したり，船上で他のお客様と交流を深めたりと，日本とは違う環境の中で一生懸命頑張っていました。



ビクトリア大学陸上競技部コーチより



インナー・ハーバーの港にて写真撮影



## 【研修の日程】

- 8:45     ホストファミリーの送迎で集合
- 9:00     スカベンジャーハント  
指示書を基に、バディと一緒に  
ダウンタウンにて活動する
- 11:30    集合地点に戻る
- ランチ：ホストファミリーが持たせてくれた  
ランチBOXを自由昼食
- 13:00    グループワーク  
活動報告会の準備
- 15:00    フェアウェルパーティ（お別れ会）
- 17:00    ホームステイ先へ移動する。



バディと ONE TEAM になって街を散策

## 【研修の実際】

午前には、カナディアンバディとスカベンジャーハントを行いました。スカベンジャーハントとは、街を散策しながら、与えられた英語の質問の答えを見つけていく活動です。ブリティッシュコロンビア州議事堂やロイヤルBC博物館、インナー・ハーバーなどを訪れ、バディと協力しながらビクトリア市街地の名所を満喫しました。活動後、回答用紙を提出し、各グループの結果が発表されました。

午後には、明日の活動報告会の準備とフェアウェルパーティを行いました。これまでの活動を振り返りながら、伝える対象を意識して、プレゼン方法を考えました。また、フェアウェルパーティでは、お世話になった方々への感謝の思いを込めて「校歌」と「well fain the way」の2曲を披露し、会場が大きな拍手で包まれました。「じゃんけん列車」や「折り紙」など日本の遊びも紹介し、参加者全員で楽しく過ごしました。

ビクトリア最後の夜、子どもたちはお世話になったホストファミリーからも、手厚いおもてなしを受け、それぞれのホームステイ先で、すてきな時間を過ごしました。



英語を使ってあいさつする代表の横田さん



カナディアンバディと交流する団員たち

## 【研修の日程】

- 9:00     ホストファミリーの送迎で集合  
          (バスでフェリー乗り場へ移動する)
- 11:00     ビクトリア港発
- 12:35     バンクーバー港着  
          (ショッピングモールにて自由昼食)
- 13:50     日本企業を訪問  
          (研修後のプレゼンテーションを実施)  
          訪問後、バンクーバー市内観光  
          ギャズタウン散策  
          レストランにて夕食
- 19:30     ホテルに到着

フェリーでバンクーバー港に到着後、バスでバンクーバー市内へ移動し、夕食を食べて、ホテルにチェックインした。



お世話になったホストファミリーとの別れ

## 【研修の実際】

「一緒に過ごせて楽しかった」「またビクトリアに来てよ！」などの声をかけられながら、名残惜しくも約1週間のホームステイを終えました。集合場所では、何の違和感も無く英語を使ってお礼を伝えたり、握手を求めたりする姿がありました。そして何より、ホームステイをやり終えた充実感が表情に表れていました。

この後、フェリーに乗り、ビクトリアからバンクーバーへ。大型店舗で各自昼食を済ませた後、JTB バンクーバー支店にて企業訪問と活動発表を行いました。カナダで活躍するスタッフの方々に自分の活動を伝えたり、質問に答えたりすることで、再度この5日間の学びを振り返ることができました。

最後に、バンクーバー市街を散策した子どもたち。バンクーバーの戦前戦後の歴史やその時にカナダで生活していた日本人の苦労にまつわる説明を受け、かつて日本人街だった場所をバスで通過する際にそれぞれが当時の様子を思い浮かべている子どもたちも多くいました。



バンクーバーで働く方々との意見交換会



バンクーバー市内の中華レストランにて



## カナダ現地研修【7日目】

2019/08/22

### 【研修の日程】

- 8:30 朝食&荷物整理後，チェックアウト  
バンクーバー市内観光  
聖火台・ハーバーセンター見学  
スタンレーパーク見学  
(トーテムポール)  
終了後，バンクーバー空港へ移動
- 11:20 空港に到着し，出国手続き  
終了後，各自昼食
- 13:50 バンクーバー空港発

.....国際日付変更線過.....

ここから成田空港に向かい，約9時間のフライトへ旅立つ。



スタンレーパークの前で記念撮影

### 【研修の実際】

聖火台とハーバーセンターに着いた団員たちは，午前中にバンクーバー市内を観光しました。ハーバーセンターの展望台からは，冬季オリンピックバンクーバー大会の選手村だったビル街を眺望したり，聖火台のある場所を確認したりしました。

その後，バンクーバー空港に到着し出国手続きを行い，空港ロビーにあるお店でお土産を買ったり，昼食を食べたりしました。多くの国の人が多く行き交う中でも，臆することなく買い物を行う姿は，海外で1週間過ごした経験が生かされているのだと思いました。



バンクーバーの街を眺める団員たち

## カナダ現地研修【8日目】

2019/08/23

### 【研修の日程】

- 15:50 成田空港着  
17:00 成田空港発（入国手続き）  
20:30 広野町公民館着

### 【研修の実際】

日付変更線を通過した23日は，とても短く感じ，日本時間はすでに午後3時を過ぎていました。1週間ぶりに日本に帰ってきた子どもたちは，日本の夏特有の蒸し暑さを感じながら，帰路につきました。



到着式で感想を発表する牧ノ原さん

# 事後研修会

2019/10/19 広野町公民館 2階大会議室

カナダから帰国後、事後研修会を開催しました。広野町文化展における活動報告会に向け、研修を振り返り、発表テーマを設定し、プレゼンテーション資料の作成を行いました。

まず3つのグループに分かれ、現地の活動について印象に残っていることを話し合いながら、活動を振り返りました。その後、特別講師によるプレゼンテーション資料作成のコツや、発表の仕方について講義を受け、それぞれの発表準備が始まりました。講師からは「原稿を読むのはプレゼンテーションではない。自分が経験して感じたことをしっかりと自分の言葉で相手に伝えることが大切だ」との助言を受けた子どもたちは、原稿に頼らず、スクリーンのキーワードを基に、自分の考えを効果的に伝える研修を行いました。

## プレゼンテーションについての講義

JTB 教育事業ソリューションセンターの及川秀昭氏を講師に招聘し、スライドの作成方法やプレゼンテーションの効果的なやり方についての講義を行いました。すっきり伝わる資料づくりのポイントとして「①イメージ置き換え、②抜いて並べる、③「資料」感を出す、④雑音カット、⑤パッと見デザイン、⑥アニメーション、⑦相手のため」7つのキーワードが伝えられました。

特に「⑦相手のため」については、伝える内容が相手の聞きたい内容なのかどうかは常に意識する必要があるという説明を受けました。



及川氏の話に耳を傾ける中学生たち

## プレゼンテーション作成・発表準備

まずは自分たちのグループの発表テーマを設定します。自分たちが経験したこと、印象に残ったことを書き出し、スライドの下書きを作成していきました。

中学校で身に付けた情報スキルを活用しながら、カナダ研修のスライド資料を作成する姿が見られ、講師の先生から、どのグループも称賛される場面が見られました。



スライドの作成してみると・・・



アニメーションを追加してみると・・・



目線や立ち方、手の位置も気をつけないと！

# 活動報告会

2019/11/02 広野町公民館 2 階大会議

中学生海外教育派遣事業の総まとめとして、活動報告会を開催しました。まず、教育委員会事務局より一連の事業及び現地カナダでの研修の流れについて説明し、その後グループごとにカナダ研修において変容した自分たちの価値観や感想等を発表しました。事後研修で学んだプレゼンテーションのポイントや伝え方を生かしながら、自分の言葉で考えを伝えることができました。

また、質疑応答において出された予想外の質問にも柔軟に対応し、自分の経験や感じたことを根拠に自分の言葉で返答する姿も見られました。

## 【式次第】

- 1 開 会
- 2 あいさつ 広野町長 遠藤 智
- 3 プログラム説明 学校教育課 鯨岡 圭介
- 4 報 告 会  
Aグループ 「文化～日本とカナダの文化のちがいがい～」  
Bグループ 「言語～僕らが学んだ言語の難しさ～」  
Cグループ 「日本の街との風景の違いから」
- 5 講 評 広野中学校教諭 佐藤 悦夫 様  
ファシリテーター 及川 秀昭 様
- 6 事業総括
- 7 閉 会



教育委員会事務局による研修概要の説明



Aグループ「文化～日本とカナダの文化のちがいがい～」



Bグループ「言語～僕らが学んだ言語の難しさ～」



Cグループ「日本の街との風景の違いから」



【Aグループ「文化～日本とカナダの文化のちがい～」のスライドの一部より】

<p>カナダの文化 一番驚いたこと</p> <p><b>YES、NOをはっきりさせる</b></p>	<p>カナダの食文化③</p> <p>「ごちそうさま」の代わりに Thank you for...という</p>	<p><b>今後について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル社会</li> <li>・コミュニケーション</li> <li>・いろいろな文化</li> <li>・考えの受け入れ</li> </ul>
--	--	---

【Bグループ「言語～僕らが学んだ言語の難しさ～」のスライドの一部より】

<p>ジャパングリッシュ</p> <p>  </p> <p>和製英語</p>	<p>コンセント    アウトレット</p> <p>ホッチキス    ステイブル</p> <p>と学びました</p> 	<table border="1"> <tr> <th>伝わる</th> <th>伝わらない</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単語だけでも意外に伝わる。</li> <li>・ジェスチャーがとても便利。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちゃんと発音しないと伝わらない。</li> <li>・文章が全然伝わらない。</li> <li>・曖昧な表現 ✖</li> </ul> </td> </tr> </table>	伝わる	伝わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語だけでも意外に伝わる。</li> <li>・ジェスチャーがとても便利。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちゃんと発音しないと伝わらない。</li> <li>・文章が全然伝わらない。</li> <li>・曖昧な表現 ✖</li> </ul>
伝わる	伝わらない					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語だけでも意外に伝わる。</li> <li>・ジェスチャーがとても便利。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちゃんと発音しないと伝わらない。</li> <li>・文章が全然伝わらない。</li> <li>・曖昧な表現 ✖</li> </ul>					

【Cグループ「日本の街との風景の違いから」のスライドの一部より】

 <p>人々</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレンドリー</li> <li>・朝の散歩</li> </ul>	 <p>建築物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的</li> <li>・高い</li> </ul> 	<p>カナダ研修を通して考えたこと これから広野町をどうしていきたいか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の人たちとの交流を増やす</li> <li>・広野町と関いたときに知ってもらえているような広野町のイメージを広める</li> </ul>
---	---	--

【参会者との質疑応答】



## 参加団員の感想とアンケート結果

私は、初めての海外で不安がありました。今では行って良かったと思っています。カナダの気候はとても涼しく、とても驚きました。また、日本とちがって日照時間が長く、午後9時頃まで太陽が出ていました。これらは、日本とは大きくちがいます。

ホームステイでも上手くやっていけるか不安でしたが、単語やジェスチャーを使ってコミュニケーションをとることができたので良かったです。パディとも5日間一緒にいたので、とても仲良くなることができました。国境を越えても仲良くなれるのだと思い、改めて英語はとても大切だと感じました。

オルカウォッチングは、船によいながらも、日本では見ることができない生き物を近くで見ることができ、カナダの自然を感じることもできました。私にとってこのカナダ研修がとても貴重な経験になりました。

広野中学校2年 赤井 晴香

最初はうまく話せるか不安だったけれど、現地の人々が「何回失敗してもいいんだよ」と励ましてくれたおかげで、コミュニケーションのとり方を学びました。特に現地に着いて驚いたことが「知らない人にも笑顔で話しかけたりあいさつしたりしていたこと」です。日本にはないよい文化だなと思いました。

今回のカナダ研修でカナダのよさだけではなく、日本のよさも見つけることができました。日本を離れてみてそう感じました。これからは、もっと英語を勉強して、多くの人とコミュニケーションをとれるようにがんばりたいと思っています。

広野中学校2年 小林 大希

ぼくは、このカナダ研修を振り返って一番感じたことは「もっと英語を勉強しなければならない」ということです。英語を知らないと伝えたいことが十分に伝えられないということを何度も経験し、そう感じました。

ただ一方で、何事も伝えようとする気持ちがあれば、ジェスチャーで何とか伝えられることも知りました。ジェスチャーや自分の知っている単語を使って、カナダの人とうまくコミュニケーションをとることもできました。

日常生活において、あまり外国の方とふれ合う機会が少ないので、これはとても貴重な体験だなと思いました。

広野中学校2年 木幡 温人

僕は今回のカナダ研修に行ってみて、カナダは素晴らしい国だと思いました。なぜなら、現地の人々はみんな「笑顔」だったからです。

僕たち日本人は、形式的なあいさつはするけれど、あまり気持ちが込められていない人もいます。しかし、カナダで出会った人たちは、だれもが笑顔で相手の顔（目）を見て大きな声であいさつしてくれました。僕は日本でもみんなにしっかりとしたあいさつをしてほしいと思っています。

この海外研修のおかげで、日本と海外のちがいを探ることができました。またこのような機会があれば、海外に行ってみたいです。僕は日本も素晴らしい国だと思いたいので、これから全国のみんなとあいさつを通して友だちになりたいと考えています。

広野中学校2年 坂本 大星

このカナダ研修は、とても自分のためになったと思います。

カナダに行くときには、自分の英語が通じるか不安でした。いざ現地に行ったら言葉ではなく、ジェスチャーや伝えようとする気持ちが大切だと強く思いました。

また、日本とカナダでは様々なことが異なっていました。食文化はもちろんそうですが、特に感じたのは日本との気温差でした。朝は日本より寒いので、防寒着を多くもって行きました。日本の夏に比べ涼しく、一年を通して気温の差が小さいカナダに行ってみて、改めて日本の四季の特徴を感じることができました。

これからカナダに行く機会があるならば、言葉を勉強して会話をできるようにしたいです。そしてカナダの人々との交流を増やしていきたいです。

広野中学校2年 坂本 遥斗

カナダ研修を振り返って「行って良かったな」と思った研修でした。自分がこれまでに体験したことが体験できた1週間でした。

私がカナダ研修で一番思い出に残っていることは、バディとの交流です。最初は、私たちはバディも緊張している所が多く、会話もあまりできませんでした。日が経つにつれて会話も増え、私たちにもバディにも笑顔が増えていきました。この研修を通して、私たちが目にしたこともない食べ物や景色、人々など日本とは違う所がたくさんあり過ぎました。

ぜひ次の中学2年生にも体験してほしいなと思いました。カナダに行くと、改めてカナダにしかない良い所、日本にしかない良い所がはっきりと分かりました。カナダと日本の時差があり過ぎて、なかなか眠れずにテレビを見ていることもありましたが、今振り返ってみればすごく楽しい思い出です。

広野中学校2年 鈴木 姫奈

日本（いつも自分がいる場所）からカナダ（産まれて初めて行く場所）に行くと、たくさんの驚きと発見がありました。カナダでは、バスにシートベルトが無いこと、現地の人々が初めて会う人ともフレンドリーに会話していること、日本との多くの違いに驚きました。

カナダで生活してみて、自分とホストファミリーとの会話で上手くいかないこともありましたが、ジェスチャーなどを使ってがんばって伝えた経験はとても心に残っています。

広野中学校2年 土屋 樹

カナダは、日本の夏に比べ涼しく、天気もよく楽しく過ごすことができました。街の人たちもみんなフレンドリーで、おだやかでした。見たことがないカナダの食事が多くありましたが、どれもおいしかったです。

また、事後報告会で自分が体験したことをみんなの前で話せたことで、自信をもつことができました。

広野中学校2年 抜水 聖哉

私はカナダに行くと最初に日本との時差に驚きました。特に寝るときにそれを感じました。カナダの時間に合わせ、ベッドに入って寝ようとしたのですが、よく考えてみると、日本はまだ昼間なのでぐっすり寝ることができなかったのだと思います。

オルカウォッチングでは、船に乗ってイルカやアザラシを見ました。それだけではなく、ラッコもいました。動物園ではなく、自然の中で海の生き物を見たことも印象に残っています。

カナダでしか味わえない経験をたくさん行うことができました。

広野中学校2年 吉田ゆきな

私はカナダ研修を通して、英語の大切さや海外のよさを感じることができました。英語は海外に行くときは大切で、現地の方とお話するときや考えを伝えたいときは、自分の気持ちを明らかにして英語を使って話さなければなりません。こういった意味でも英語は大切ですが、話することができる言語が増えることで、海外の方々とお話することができ、友だちを増やすことにもつながるので、しっかりと英語を学ぼうと思いました。

海外のよさを感じたのは、日本に帰ってきたときです。あいさつやフレンドリーさなど、日本との違いを肌で感じることで良かったです。またカナダだけではなく、他の国にも行ってみたいなど改めて思っています。

カナダに行く前、そしてその後まで、多くの研修があり、普段生活しているだけでは学ぶことのできない「会話の方法」から海外での経験を伝える「パワーポイントの作成」まで、たくさんの方々を支えていただいたからこそ今があると思っています。本当にありがとうございました。

広野中学校2年 横田 歌恋

私にとって、初めての飛行機そして海外。この6泊8日のカナダ研修はとても良い経験になりました。ホームステイ、ドリームキャッチャー作りオルカウォッチング、スカベンジャーハント…普段出来ないことばかりです。今まで海外にあまり良い印象をもっていなかったけど、この研修を終えて海外には日本にはない良さがたくさんあることに気がきました。

その反面、この日本での生活がどれだけ幸せなのか感じさせられたこともありました。家族のありがたさ、カナダにどれだけ良さがあってもやはり落ち着くのはふるさと、日本の食べ物のおいしさ…たくさん感じさせられました。正直日本に帰りたと思うことも何度かありました。でも今は「楽しかった」「良い経験になった」と心から思うことが出来ます。海外には行きたくないという今までの気持ちから「他の国にも行ったみたいと思うようになった」この心の変化から何事にもチャレンジしてみないと分からないこと、私たちには知らない世界がまだまだあることを知りました。そして、この経験から一番学んだことは仲間や友だちの大切さです。一人では何も出来なかったと思います。これからの仲間や友だちとの日々を大切にしていきたいです。カナダはとてもよいところでした。

広野中学校2年 牧ノ原 梨織

## 【研修後のアンケート結果】

※ ○内は人数を示す

質問内容	4	3	2	1	平均
自分はカナダ研修において、現地の方々と英語やジェスチャーで、コミュニケーションを図ることができた。	⑧	③			<b>3.73</b>
自分はカナダ研修において、現地の文化（食事や言葉、考え方等）を理解することができた。	⑥	④	①		<b>3.45</b>
自分はカナダ研修に行くことで、日本やふるさとのよさに気付くことができた。	⑩		①		<b>3.82</b>
カナダ研修に行き、これから挑戦したい・がんばりたいことが明らかになってきた。	④	⑥	①		<b>3.27</b>
自分はもう一度海外に行ったり、多くの外国の方々とかかわりを深めたりしたいと考えている。	④	④	②	①	<b>3.00</b>
カナダ研修は、自分のためになったと感じている。	⑨	①	①		<b>3.73</b>

4…とてもそう思う、3…そう思う、2…そう思わない、1…全く思わない

## 海外派遣事業の今後に向けて

カナダの教育は州政府によって管轄されており各州の教育省が教育水準を設定し、それぞれの地域的特色や文化歴史を反映したカリキュラムが組まれています。ブリティッシュコロンビア州は特に教育水準も高く、州に60の教育学区が存在し、それぞれに教育委員会が設けられています。そして各教育委員会がその地区の学校を管理していますが、細かなカリキュラムや運営は各学校に任されており、学校独自の特色ある教育活動が行いやすい環境にあると言えます。

カナダの中学校・高等学校は通常9月に始まり6月に終わる2学期制を取っているため、当該期間中カナダの学校は休学期間中であることから、現地学校での学生との交流は難しい状況にあります。しかしながら、本事業ではカナディアンバディとの体験学習の時間を多く設け、現地の同世代の学生との交流を行うことができるプログラムを取り入れています。参加した生徒の感想からも分かるように、カナディアンバディとのかかわりの中から、言語及び非言語によるコミュニケーションを学んでいる姿が見られました。今後も、ブリティッシュコロンビア州でしかできない体験を大切にしながら、子どもたちの感性を豊かにする広野町独自のプログラムを多く取り入れていきたいと考えます。

一方、現地で「広野町ってどんな所?」「日本のよさってどんな所?」という質問を受けることが多かった子どもたちですが、ほとんどが自信をもって答えることができず、友だちと顔を見合わせることも度々ありました。グローバル人材の育成を目指して実施されている本事業ですが、海外に渡航するための事前研修は勿論、「自国の文化や伝統を理解する」「ふるさとの魅力を誇れる」これらの活動も同様に重視されるべきだと感じました。海外教育交流派遣事業の理念を各学校と共有し、各学校のカリキュラム（「ふるさと創造学」や各教科等の内容等）とこれまで以上の連携を図りながら、この事業を続けていく必要があると考えます。

また、子どもたちの感想からは、海外研修を通して磨かれた中学2年生なりの「感性」を垣間見ることができました。大人では当たり前と思うことが、子どもたちにとっては大きな発見・驚きであり、この時期に海外に渡り、自分の住む日本と他国の文化の違いを肌で感じる経験が、子どもたちの感性を豊かにすることにもつながっています。この年代で海外研修を行う意義を共有しつつ、「ふるさとの伝統や文化、魅力を誇れる」子どもたちが、海外に行く目的や目標を明確にし、帰国後に自己の変容をアウトプットする、そしてこれからの学校生活や将来につなげていく、これらの事業イメージを広野町の教育関係者全員が理解し、この事業がより有意義なものになるよう、尽力していきたいと考えています。

広野町教育委員会



令和2年1月発行

令和元年度広野町中学生海外教育交流派遣事業報告書

編集発行 広野町教育委員会

〒979-0402 福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替 35

Tel : 0240-27-4166 / Fax : 0240-27-4702

